

学校現場を取り巻く環境が複雑化・多様化し、学校に求められる役割が拡大する中、教員の長時間勤務の現状が明らかになっています。

「将来を担う子どもたちによりよい教育を実践する」ため、愛媛県教育委員会及び各県立学校において、『まじめに』働き方改革に取り組んでいる様子をお伝えします。

ぜひご一読いただき、本県の学校における働き方改革につきまして、御理解、御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



1. お知らせ

今年度の取組の実績

今年度は、令和4年3月に策定した「愛媛県学校における働き方推進方針（第2期）」及び「令和4年度 学校における働き方改革推進計画」に基づき、関係課室、各学校において各種取組を実行してまいりました。



今年度実施した主な取組は以下のとおりです。

- コンピュータ上でテスト等の実施・採点・分析を行うことができる県独自のC B Tシステムを県内全ての公立学校での本格運用を開始
- 学校現場における総務系事務（勤怠管理や休暇、給与・諸手当等）の効率化と負担軽減を図るため、県立学校への庶務事務システム導入を検討
- 教材作成補助や各種調査の集計等を教員に代わり行うスクール・サポート・スタッフや、授業等でのI C T活用を支援するI C T教育支援員など外部人材の配置を拡充
- 働き方改革の鍵となる部活動改革について、
 - ・7月に「県立学校における部活動改革作業部会」を立ち上げ、県立学校の運動部活動に関する現状の把握や意見交換等を実施
 - ・県立学校の教員等を対象に、部活動に関するアンケート調査を実施し、結果報告書を取りまとめ
 - ・休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、拠点校2校（4部）で実践研究を実施するとともに、各市町との連絡協議会を開催し（運動部4回、文化部2回）、各市町が抱える課題の共有や対応案の協議等を行い、組織の構築に向けた支援などを実施
- 教職員のメンタルヘルス対策として、若手教職員を対象として、心の回復力に着目した「レジリエンス体験型研修会」を開催 など

今後も引き続き、取組を進めてまいります。詳細はこちらをご覧ください。

※3月末頃更新します。

- ・ [学校における働き方改革取組の実績について](#)
(県教委HP (取組の実績) ヘルリンク)



2. 今月号のピックアップ

毎号、その時期の特徴的な取組、新たな取組等をピックアップしてお知らせします。

今回は、

- ・『[愛媛県教育委員会 令和5年度 学校における働き方改革推進計画](#)』の策定について、お伝えします。

【概要 (令和5年度推進計画)】

愛媛県教育委員会では、取組実績や新たな課題等を踏まえ、実効的に働き方改革に取り組むため、毎年度、推進方針に定める基本的な方針(6つの柱)ごとに、重点的に取り組む内容を検討し、計画としてまとめて実践しています。

来年度は、主に

- 県独自のCBTシステムの各公立学校での更なる活用促進
- 校務支援システムの機能充実や庶務事務システムの開発着手と業務見直し等の検討、欠席・遅刻連絡など学校・保護者間の連絡手段のデジタル化
- スクール・サポート・スタッフやICT教育支援員など外部人材の配置拡充
- 部活動改革として、今年度実施したアンケート結果等を踏まえた今後の在り方の検討や休日の部活動の地域移行に向けた検討

などに取り組むほか、教材、指導方法の共有や会議、行事等の見直し、教職員のメンタルヘルス対策などの基本的な取組についても、引き続き推進し、教員の負担軽減を図ってまいります。

今後とも教員の働きやすさとやりがいの両面から働き方改革を継続的に進め、教員が教員でなければできないことに全力投球できる魅力ある職場環境づくりに力を尽くしていきます。



詳細はこちらをご覧ください。

※3月末頃更新します。

- ・ [愛媛県教育委員会 令和5年度 学校における働き方改革推進計画](#)
(県教委HP (愛媛県の方針) ヘルリンク)